

明治35年2月11日創刊

平成30年8月15日印刷

平成30年8月20日発行  
(年4回発行)

# 國際法外交雜誌

第117卷 第2号

2018年8月

## 論 説

南シナ海仲裁裁判本案判断に関する一考察

——歴史的権利と国連海洋法条約第121条3項の解釈を中心に——

コペンハーゲン大学教授 田 中 嘉 文 1

南シナ海仲裁手続の訴訟法的含意

岡山大学教授 李 禎 之 30

Nonappearance and Procedural Delicacy:

Some Observations on the Tribunal's Handling of Jurisdiction

in the *South China Sea Arbitration*

Associate Professor, Tsinghua University Xinjun ZHANG 50

投資条約仲裁における投資家の国家責任追及権の根拠と性質

——非金銭的救済を素材として——

岡山大学専任講師 二 杉 健 斗 77

## 研究ノート

難民等の受入れにおける負担および責任の分担

——諸理論とEUの試み——

中央大学教授 中 坂 恵 美 子 105

保護する責任と体制転換のジレンマに関する一考察

——リビア紛争におけるカダフィ政権の政府性をめぐって——

近畿大学専任講師 瀬 岡 直 135

外交的庇護をめぐる法的争点と展望

京都大学特定助教 中 井 愛 子 164

## 資 料

2017年の国際司法裁判所裁判官選挙の結果と若干の考察

外務省大臣官房人事課首席事務官 長 谷 部 潤 194

2017年の国際刑事裁判所裁判官選挙の結果について

在ハンブルク日本国総領事館総領事 加 藤 喜 久 子 209

## 紹 介

浅田正彦 著『日中戦後賠償と国際法』

明治学院大学教授 阿 部 浩 己 225

吉田靖之 著『海上阻止活動の法的諸相

——公海上における特定物資輸送の国際法的規制』

同志社大学教授 新 井 京 231

国 際 法 学 会